

はじめに 慶大を志望する君に贈る「新バイブル」

この本は、慶應義塾大学(以下、慶大)を志望する人全てに捧げる「新バイブル」です。

これまでの問題集とは大きく異なる一問一答形式で、1000題を超す慶大の過去問にトライしていくうちに自然と合格力がアップするように構成されています。過去25年に及ぶ入試問題を分析して、文法・語法・語彙・英作文・会話・発音アクセント・長文読解(空所補充・同意語句選択・和訳・指示語)・背景知識など、あらゆるタイプの問題を、アトラダムにクイズ感覚で楽しみながら進めていくことができます。

ご存知の通り、慶大は国内屈指の人気私立大学です。入試問題も一筋縄ではいかないものが多いです。しかし、どんなに複雑に思えるものも単純化することは可能なはず。「複雑なものを複雑なまま理解しようとしてはいけない。論理的に考え抜くことで、複雑なものを単純化することこそ知性だ」と、僕はいつも受験生に訴えかけています。そう、シンプルは知性であり、シンプルは美しいのです。

僕がこの教材を作る際に最も苦勞したのは、出題者の意図を変えることなく、そのエッセンスをシンプルな一問一答形式に置き換えることでした。一つひとつの入試問題の本質を見抜き、それを各設問に反映する作業には膨大な時間と労力がかかりました。しかしだからこそ、この本を読み進めていく過程で、読者自身気づくことなく、合格に必要な頭の働かせ方や知識が自然と身につくのです。

ところで、生前のスティーブ・ジョブズは商品の市場調査をしないことで知られていました。なぜなら、世間の人々は自分が欲しいものを目にして初めて「こんなのが欲しかったんだ!」と言うことが彼にはわかっていたからです。そして、己が考える最高の製品を作ることに、持てる情熱の全てを注ぎました。

そのような彼の哲学には、僕も共鳴できます。慶大を志望している人が「こんな参考書がずっと欲しかったんだ!」と、時間の経つのも忘れてこの本にのめり込む姿を想像しながら、この本の製作に没頭しました。

この本を完全マスターすれば、君の夢が確実に現実に近づくはず。それは、これまで慶大に合格してきた僕の教え子たちが実証しています。

心から応援しています。頑張ってください!

慶大でるでる英語一問一答 ①

0001. ～するのに苦勞する (英訳) [文]
0002. 彼の電話を切る (h) (u) on him [法]
0003. 同格を表す接続詞のthatの特徴は？ [理工]
0004. These days we have many news. (正誤) [法]
0005. 彼女とうまくやっていく (4語で英訳) [法]
0006. Poverty is a relative, not an (a) concept. [経]
0007. middle class (和訳) [経]
0008. neverのような否定の副詞が文頭に置かれると… [商]
0009. Aに慣れている be accustomed () A [法]
0010. The reverse can be the case. (和訳) [商]
0011. restrict A () B (前置詞) [商]
0012. the person involved (和訳) [商]
0013. in-fa-mous (アクセント) [理工]
0014. 摩擦 (f) / 空気抵抗 (a) (r) / 科学技術 (t) [理工]
0015. be consistent with A (和訳) [総合政策]
0016. advent = (exemption / emergence / extinction / enrollment)
(選択) [商]
0017. 半分に下落する fall () half [商]
0018. coincidence (和訳) [経]



0001. have a hard [difficult] time (in) *doing* または have difficulty [trouble] (in) *doing*

0002. hang up 「電話を切る」

0003. (that + 完全文) の前に抽象名詞が置かれた形で「完全文という名詞」と訳せる。㊦ [例] the fact that he can't swim 「彼が泳げないという事実」

0004. many を much [a lot of] に。㊦ news 「知らせ」は不可算名詞。

0005. get along with her

0006. absolute 「貧困は相対的な概念であって、絶対的な概念ではない」

0007. 中流階級 ㊦ ちなみに「上流階級」は upper class。

0008. 直後に倒置が起こる。㊦ 倒置とは疑問文の語順になること。

0009. to ㊦ be accustomed to A = be used to A

0010. 逆のことが当てはまることもある。㊦ the case = true

0011. to ㊦ 「AをBに制限する (= limit A to B)」

0012. 当事者 ㊦ involved 「関係している」は、単独で名詞を後置修飾する形容詞。

0013. in-fa-mous 「悪名高い」

0014. friction / air resistance / technology

0015. Aと一致している

0016. emergence ㊦ 免除 / 出現 / 絶滅 / 登録

0017. by ㊦ 差を表す前置詞

0018. 偶然の一致 ㊦ [例] What a coincidence! 「すごい偶然だね!」